

京築ヒノキPR 学生がHP

京築地方のブランド木材「京築ヒノキ」の商品開発に取り組み活動「ちくらす」を、西日本工業大（刈田町など）とともに展開する西南女学院大（小倉北区）の高橋幸夫准教授のゼミ生6人が、「ちくらす」のホームページ（HP）を開設した。これまでの活動の足跡などを紹介しており、京築ヒノキのPRに一役買う。

（佐伯浩之）

「ちくらす」は京築ヒノキ ラノデザインウィークにキを使って若い人が好む家具などの開発を目指し、県では、名刺入れの販売を模範農林事務所（行橋市）などの後押しを受けて3年前にスタート。製造などを担当する西日本工業大に対し、西南女学院大は市場調査やコンセプトづくりを担当。年に数回のコンペション（競技会）を両大で開き、作品選定を行っている。

HP開設は3年間の活動の総括と、多くの人へのPRが目的。6人は6月からゼミの授業以外で作業を始め、PR項目を選び出した。制作は、八幡西区の制作会社に依頼した。内容は①これまで作った名刺入れやトレイの商品紹介②両大の活動コンセプト③ちくらすのイベント情報④活動内容

これまで椅子やバインダーを開発。4月には、名刺入れをイタリアであったデザインの世界祭典「ミ

HP開設は3年間の活動の総括と、多くの人へのPRが目的。6人は6月からゼミの授業以外で作業を始め、PR項目を選び出した。制作は、八幡西区の制作会社に依頼した。内容は①これまで作った名刺入れやトレイの商品紹介②両大の活動コンセプト③ちくらすのイベント情報④活動内容

西南女学院大の高橋ゼミ生6人

商品開発の足跡など紹介

の動画—など。

HP開設に中心的に携わった3年の小川明莉さん（21）は「活動を広く知ってもらおう紹介方法や、制作会

kurasu.jp

アドレスは<https://chikurasu.jp>

いる。

高橋准教授は「学生が自主的に制作した。多くの人に閲覧してほしい」と話して

社に自分たちの意図を伝えるのに苦労した」と語る。今後、6人は英語版の制作にも着手する予定。

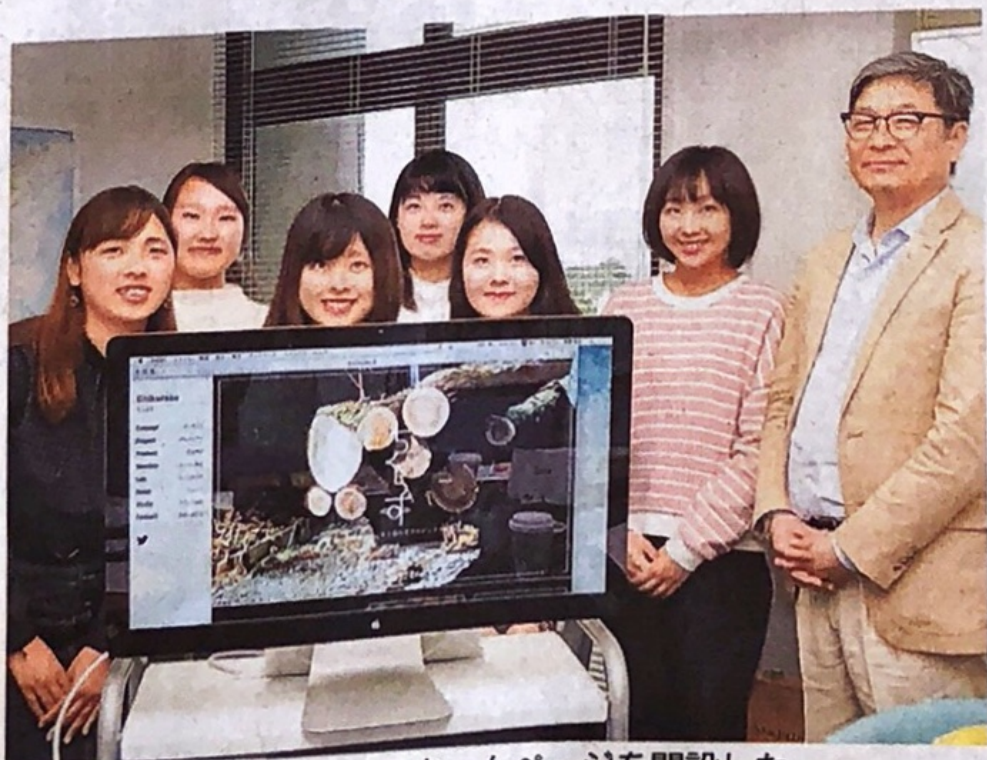
高橋准教授は「学生が自主的に制作した。多くの人に閲覧してほしい」と話して

社に自分たちの意図を伝えるのに苦労した」と語る。今後、6人は英語版の制作にも着手する予定。

高橋准教授は「学生が自主的に制作した。多くの人に閲覧してほしい」と話して

社に自分たちの意図を伝えるのに苦労した」と語る。今後、6人は英語版の制作にも着手する予定。

高橋准教授は「学生が自主的に制作した。多くの人に閲覧してほしい」と話して



「ちくらす」のホームページを開設した高橋幸夫准教授（右）とゼミ生たち